

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 横浜鶴見教室

保護者等数(児童数) 41 回収数 38 割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	1		3		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	2		4	職員が多くて、十分に適切。 長年の先生も多く、専門性がある。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	3		8		以前、事故で足を骨折し松葉杖で来所される児童が居た時は、教室内の過ごせる環境下で活動した。その時々で状況で過ごせるように工夫していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	38					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	38				安定着も交ぜながら、新鮮さもある。 非常に満足。	人気のあるプログラムにおいても内容に変化をつけていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	3	5	20	放課後等デイサービス内でのコミュニケーションで充分なところがある。 なくとも良い。	児童館の交流があれば参加したいが、その機会が年々薄くなっているように感じる。 相談場所があれば、出向きたい。
保護者 への説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38				分からないことを細かく丁寧に説明していただいた。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	37	1			充分に感じる。 とてもありがたい。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1	1		相談があると、その都度対応してくれて助かる。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	7	14	9	保護者同士は特に必要ない。	あきまつりと称して、毎年秋に教室内開放のイベントを行っているが、今後も保護者同士のコミュニケーションの場になれば良いと思っている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	1		6	対応が早い。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	36	2				インスタグラムの投稿更新を増やしていく。 契約時にお約束した掲載承諾書の希望を変更される場合があるため、
14 個人情報に十分注意しているか	36	1		1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	32	2		4		ご契約時の説明とともに、必要によっては紙面上の物を配布する。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	1		7		防災訓練が実施されていることを周知するため、会報誌やInstagramにその様子を載せていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	35	3			お友だちが出来た。プログラムが充実。 とても楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	37	1			何年も通所しているがお世話になっている。 大変満足。もっと通所を増やしたい。危険行動が多い中、個別で見守ってくれていて感謝。	

572 30 20 62

84%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 横浜鶴見教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		活動する場所やフリースペース等、充分に確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	10		マンツーマン対応職員がその児童のお迎えに行く等、送迎から帰ってもそのままの流れで支援できるように心がけている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	5		階段が危険。児童が誤って転倒しないように滑り止めの強化をしたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	モニタリングを行う前に職員で会議する時間を設けている。少しの時間でも話し合うことにより、支援の内容を職員間で周知し、マンツーマン対応などの強化に繋げている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		プログラム担当を決めるのに話し合う場を設けたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		開所当初からのプログラム案があり、毎月参考にしている。	今後必要であるSSTや性教育へのプログラムも活用していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	平日と休日を併用で通所されている児童には平日はあまり時間がないため、個別課題を休日に行えるように配慮している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		曜日を決めて、個別での作業プログラムを実施。スムーズに行えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		送迎から帰ってくる時間がバラバラなため、その日のうちはなかなか難しいが、伝言やメモ等で周知することを続けていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		モニタリング、個別支援計画見直し面談後に児発管が職員を集めてカンファレンスを行う。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2			
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			管理者もしくは児発管の出席がほとんどなため、個別の保護者面談には児童と関わる機会多い職員にも同席してもらおう。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	月末に学校からお手紙があるので、そちらをお借りして、翌月の予定を印刷させてもらう。	下校時刻の急な変更があるため、保護者との連絡に公式アカウントのメッセージ等を活用をする。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		関係機関の連絡会に参加する。事務局が運営する集う会には、積極的に出向くようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	8		参加の人数制限があるため、解除になったらたくさん職員を参加させたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		近年、お迎えもお送りも学校やキッズ、学童にさせていただいてる児童が増えたため、電話やメール等でやりとりをする機会を増やした。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2		ペアレントトレーニングに関して保護者からのご要望があり、いつか保護者会もかねての開催を行いたい。区が行っているペアレントトレーニングの入門研修などに参加予定。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5	一昨年から、秋にお教室開放日を設けている。保護者同士の顔合わせの機会でもあるので、好評をいただいている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			お仕事等で、送迎時に直接お話しできない事も多いため、連絡帳が大切な連絡ツールとなるが、記載内容を児童本人が読めてしまうこともあるため、慎重に対応していく。休日を見計らってお電話でお伝えさせていただいたり、なるべく直接対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			Instagramの投稿回数を増やす試みや普段の様子だけではなく、個別学習の様子や教材等も載せていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		空いている時間を確保して、実例から話し合いの場を設けたり、動画研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			記載内容を、個別支援計画作成後の説明時に丁寧に行う。カンファレンスで職員には周知をしているが、全職員が把握できているかも確認する必要がある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			アナフィラキシーショック症状のある児童にはおやつ提供は無しとして、自宅から持ってきてもらうことを徹底する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		月ごとに担当職員を決めたことで、全職員が意識を持って行っている。	